

S U P E R
FORMULA

STAGE

superformula.net

INDEX

- 2017 出場ドライバー紹介 ②③
- 今大会の見どころ ②
- 本山 哲 アンバサダーが語るコースガイド ③
- TECHNICAL COLUMN ④
- リア流 SUPER FORMULA 調理法 ④
- インフォメーション ④

Published JAPAN RACE PROMOTION
2-3-25 Kudan-minami Chiyoda-ku Tokyo

本紙への広告掲載のお問い合わせは —
株式会社 日本レースプロモーション
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25
☎03-3237-0131
http://superformula.net

JRP
Japan Race Promotion Inc.

INTERVIEW NO. 4

B-Max Racing team ドライバー

小暮卓史

Takashi Kogure #50

「やった、優勝だ！ これでチャンピオンになったんだ!!」

表彰台の上での発泡日本酒ファイト。2007年シーズンを締めくくるセレモニーで参加ドライバー全員から発泡日本酒をかけられ、小暮卓史は全身ずぶ濡れになりながらポール・トゥ・ウィンを果たしたレースの余韻に浸っていた。数日後には、これまで目指してきたF1のテストが待っている。そのコクピットに最高の状態で乗れる。まるで夢の中にいるかのようだった。

ところが、それから約2時間後。残酷な現実が小暮にもたらされる。シャワーを浴び、こざっぱりした服装で、ファンも参加する鈴鹿サーキットホテルの『シーズンエンドパーティー』へ。その会場に足を踏み入ると、ライバルたちがなぜか言葉少なに小暮の肩を叩く。表彰台で見た、みんなの笑顔はそこにはない。とてつもなく変な雰囲気だった。そこに所属チームの中嶋悟監督が現れる。「僕、チャンピオンになったんですよ」と確かめる小暮に、中嶋監督は言葉少なに伝えた。「それがどうも違うみたいなんだ…」小暮は、当時担当だった田坂泰啓エンジニアにすぐ電話をかけた。その電話に、泣きながら「ごめん」と答える田坂エンジニア。レース後の再車検でスキッドブロック（車体底面に装着される板）の厚みが足りず、小暮は失格。チャンピオンは幻となってしまった。その後、パーティー会場にはいたものの、小暮はまさに放心状態。当時は自分が傷ついたかどうか分からないほどだったという。

群馬出身の小暮は、子供の頃から乗り物好き&クルマ好き。自転車やバギー（砂地や未舗装の悪路を走行するための車両）を乗り回す田舎の少年だった。高校に上がるとカートを始め、オーディ

ションを受けて入門フォーミュラに参戦を開始。その後、レーシングチームの代表で元ドライバーの藤田直廣氏に見出されF3にステップアップする。2年目には、やはり元ドライバーで数々の才能あるドライバーを見出してきた田中弘氏率いる童夢×無限プロジェクトのドライバーに抜擢され、他を圧倒する鮮烈な速さを見せた。そして、わずか2年でF3タイトルを獲得すると、2003年にはナカジマレーシングからフォーミュラ・ニッポンにステップアップ。オフのテストで幾度も大きなクラッシュを演じ、開幕までに3つもモノコック（車体の骨格部分）をダメにしたと話題になった。それでも中嶋悟監督は、小暮のスピードに惚れ込んでおり、クビにするようなことはなかった。それから小暮は「自分で自分に限界を作りたくない」という走り続け、次第に当時最強だった本山哲、ブノワ・トレルイエ、松田次生を凌ぐ速さを発揮するようになっていった。

「とにかくもっと上へ、上へというモチベーションしかなかった」という小暮は、階段を駆け上っていく。そして2007年シーズン、特に後半戦に入ってからスポーツランドSUGO、ツインリンクもてぎで2連勝を果たし、逆転タイトルがかかった最終戦でもPPを獲得しただけでなくトップチェッカーを受けた。なのに…。

その直後、左足ブレーキを上手く使いこなせなかったということでF1テストが不調に終わり、ステップアップの夢が叶わなくなった小暮は国内に残留。これまで10年間、フォーミュラ・ニッポン/スーパーフォーミュラに参戦が続いている。ナカジマレーシングに7年、ドラゴコルセに2年、そして今年は新規参戦チームのB-Max Racing teamへと移籍。だが、ここまではまだ優勝争いに加わっていない。「それでも、フォーミュラに行く時は、デビューした頃と同じように今でもワクワクドキドキするんですよ」という小

暮。その気持ちを支えているものこそ、2007年最終戦の失格だ。

「もし、あそこでチャンピオンを獲っていたら、満足して辞めてしまっていたかも知れないですよ。でも獲ってなくて、その悔しさがモチベーションになって今も続けているんです。このまま辞めてしまったら僕には何も残らないじゃないですか。そりゃあ“もういらぬから”ってクビになってしまったら乗れなくなりますけど、僕は絶対に自分から辞めるっていうことはありません」これまで長くやってきたからこそ、持っている道具と体制、タイミングさえ整えば、まだトップで戦えるという自負もある。その背中をいつも静かに後押ししているのは、何年にも渡って火花散る激しい戦いを演じてきたかつてのライバルたち。彼らも、小暮が先頭を走る姿を待ち望んでいる。

※インタビュー全編は後日公式ホームページに掲載いたします。

Series Partner **HONDA TOYOTA**

Series Supporter **YOKOHAMA**

Promotion Partner **HITACHI**
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
Action Cam

八 NINKI-ICHI
人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ

J SPORTS

KCMG

ケーシーエムジー

18 小林可夢偉
Kamui KOBAYASHI
1986年9月13日 / 兵庫県 日本



KCMG Elyse SF14

RANKING **9** POINTS **4.5**

F1で活躍し、2015年にスーパーフォーミュラへ。2年間チームルマンで活躍してきたが今年チームを移籍。第2戦では2レースとも入賞を果たした。

<http://www.kamui-kobayashi.com/>



ITOCHU ENEX TEAM IMPUL

イトウチュウエネクス チーム インパル

19 関口雄飛
Yuhi SEKIGUCHI
1987年12月29日 / 東京都 日本



ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14

RANKING **3** POINTS **15**

長年GTレースで活躍し昨年スーパーフォーミュラにデビューし、2勝する活躍。今季は開幕戦こそ入賞を逃したが、その後はすべて入賞している。

<http://yuhi-muteki.net/>



20 ヤン・マーデンボロー ★
Jann MARDENBOROUGH
1991年9月9日 / イギリス 英国



ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14

RANKING **14** POINTS **2.5**

昨年全日本F3で2位となり、今年スーパーフォーミュラへ。まだ表彰台獲得こそないが、2度目の入賞。星野一義監督の下、どこまで成長できるか期待だ。

<https://www.jannthaman.com/>



VANTELIN TEAM TOM'S

バンテリン チーム トムス

36 アンドレ・ロッテラー
Andre LOTTERER
1981年11月19日 / ドイツ 德国



VANTELIN KOWA TOM'S SF14

RANKING **2** POINTS **18**

2011年チャンピオン。11、12、14年とル・マン24時間レースで優勝している。毎年タイトルを争うが惜しくも届かず。今年こそ2度目の栄冠なるか。

https://twitter.com/andre_lotterer?lang=ja



37 中嶋一貴
Kazuki NAKAJIMA
1985年1月11日 / 愛知県 日本



VANTELIN KOWA TOM'S SF14

RANKING **4** POINTS **13**

元F1ドライバーで、2012、14年のチャンピオン。父はナカジマレーシングの中嶋悟監督。今季は開幕戦でポール・トゥ・ウインを飾っている。

<http://www.kazuki-nakajima.com/>



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

ドコモチームダンディライアンレーシング

40 野尻智紀
Tomoki NOJIRI
1989年9月15日 / 茨城県 日本



DOCOMO DANDELION M40S SF14

RANKING **—** POINTS **0**

デビューした2014年にいきなり優勝し、俄然注目される存在に。昨年は5度目の入賞と実力を見せたが、今季はまだ本来の力が発揮できていないようだ。

https://twitter.com/tomoki_nojiri



41 伊沢拓也
Takuya IZAWA
1984年6月1日 / 東京都 日本



DOCOMO DANDELION M41Y SF14

RANKING **10** POINTS **4**

2008年にフォーミュラ・ニッポンへ。12年にはタイトルを争った。その後GP2に参戦し、15年に復帰。今季はこの時点で昨年のポイントを上回っている。

<http://www.takuya-izawa.com/>



B-Max Racing team

ビー・マックスレーシングチーム

50 小暮卓史
Takashi KOGURE
1980年8月1日 / 群馬県 日本



B-Max Racing team SF14

RANKING **—** POINTS **0**

2003年からフォーミュラ・ニッポンを戦い、ロッテラー選手とともに今年で15年目のベテラン。チームは今年初参戦。熟練の技でどこまで活躍できるか。

<http://www.takashi-kogure.com/>



TCS NAKAJIMA RACING

ティーシーエス・ナカジマレーシング

64 中嶋大祐
Daisuke NAKAJIMA
1989年1月29日 / 愛知県 日本



TCS NAKAJIMA RACING SF14

RANKING **15** POINTS **2**

父はチームの中嶋悟監督、兄の一貴も選手として活躍中。開幕戦で入賞後は苦戦が続くが、昨年も後半に活躍を見せたので、今後の巻き返しに期待だ。

<http://www.daisuke-nakajima.com/>



65 ナレイン・カーティケヤン
Narain KARTHIKEYAN
1977年1月14日 / インド 印度



TCS NAKAJIMA RACING SF14

RANKING **—** POINTS **0**

2001年にフォーミュラ・ニッポンに参戦。その後05、11、12年とF1で戦い、14年から再び日本で活動。今季チームを移籍し、新天地での入賞が待たれる。

<https://twitter.com/narainracing?lang=ja>



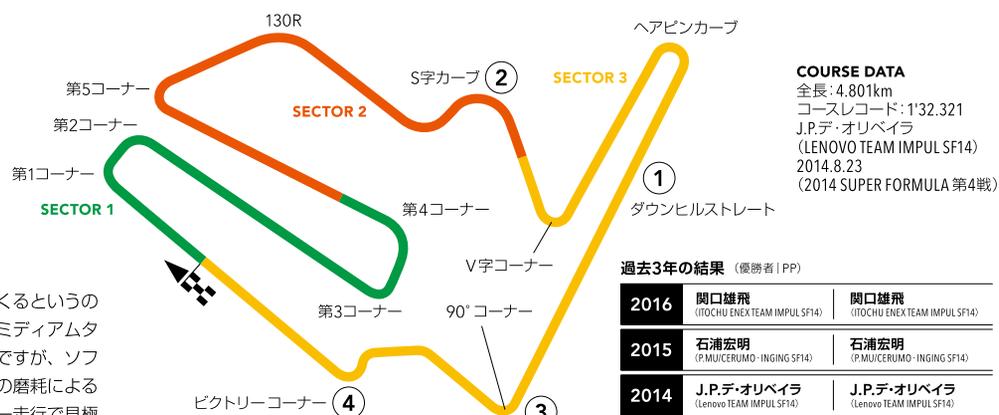
本山 哲 アンバサダーが語る ツインリンクもてぎ

リアのグリップが安定しているクルマが速い

今回、舞台となるツインリンクもてぎは開場20周年ということですね。おめでとうございます。僕もこのサーキットではずっとレースをしてきましたが、フォーミュラで思いに残っているのは2005年の第8戦の優勝。4回目のチャンピオンを決定づけた1戦です。最近では真夏にレースが行われるもてぎですが、その頃は最終戦のひとつ前に行われていてタイトル決定の場となることも多かったんですよ。

さて、そのもてぎはかなりオーバーテイクが難しいサーキットなので、予選順位が重要になります。コースのキャラクターがストップ&ゴー（基本的にアクセル全開と急減速の繰り返し）なので、クルマのセットアップという面で言うと、ブレーキング時の安定性と加速時のトラクションが大切。リアのグリップを重視したセッティングが必要となってきます。また今回のレースでは、ヨコハマタイヤが新し

いスペックのソフトタイヤを投入してくるというのがキーポイントになりますね。多分、ミディアムタイヤとバランスは変わらないと思うのですが、ソフトタイヤのデグラデーション（タイヤの磨耗による性能低下）がどれくらいあるかをフリー走行で見極めることが大事になってくると思います。そこを基準として、レースの時にどれくらいの割合でソフトを使うか各チームが決めるはず。もてぎはコースのキャラクター的に、コーナーのバンクが少なく路面のミュー（摩擦係）が低いのでタイヤには負担が少ないコースですが、僕も金曜日の走行では新しいソフトタイヤのタイムや走行後のタイヤ表面の状況をチェックするつもりです。本来であればミディアムよりもソフトの方がグリップはいいはずなんですけど、暑くなり過ぎると逆にタイヤが柔らか過ぎてグリップが出ない可能性もある。そのあたりにも注目して見てみたいと思いますね。



COURSE DATA
全長: 4.801km
コースレコード: 1'32.321
J.P.デ・オリベラ (LENOVO TEAM IMPUL SF14)
2014.8.23
(2014 SUPER FORMULA 第4戦)

過去3年の結果 (優勝者 | PP)

2016	関口雄飛 (ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14)	関口雄飛 (ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14)
2015	石浦宏明 (P.MUCERUMO-INGING SF14)	石浦宏明 (P.MUCERUMO-INGING SF14)
2014	J.P.デ・オリベラ (Lenovo TEAM IMPUL SF14)	J.P.デ・オリベラ (Lenovo TEAM IMPUL SF14)

次に、ドライビング面での特徴です。例えば予選アタックにしても、もてぎは「このコーナーで頑張れば…」というポイントはなく、全体的に攻めすぎない方がタイムが出る印象のサーキット。実際に走っていてそう感じます。スタンドから観戦される場合は、①バックストレートからブレーキングのポイントが一番迫力はあります。②S字カーブもSFマンのコーナリング性能を見ることができるとおススメですよ。リアのグリップが安定していて、ドライバーが安心して攻めている感じが見えるクルマは調子がいいとわかりますし、ドライバーごとの運転

の違いもわかります。オーバーテイクに関してはかなり難しいコース。ただ、①バックストレートでオーバーテイクボタンを使って③90度コーナーで前が出る、あるいは④最終コーナーを上手く立ち上がり、1コーナーのブレーキングで前が出るというチャンスはあると思います。ここまでの3戦を見ると、ルーキーのローゼンクヴィストが非常に良いドライビングをしていますし、山下の活躍も印象的。一方、石浦、国本、関口、一貴、ロッテラーあたりの中心メンバーはやはり安定感と強さがあるので、そうした選手に注目ですね。

Starting Grid — スターティンググリッド **自分でGrid表を完成させよう!**

2	No.	4	No.	6	No.	8	No.	10	No.	12	No.	14	No.	16	No.	18	No.		
1	No.	3	No.	5	No.	7	No.	9	No.	11	No.	13	No.	15	No.	17	No.	19	No.

ソフトタイヤの開発



今回の第4戦もてぎ大会と次の第5戦オートポリスで、昨年とは異なる新スペックのソフトタイヤを投入します。

新スペックの狙い

昨年のソフトタイヤは、事前テストでは通常のミディアムタイヤよりも1秒以上速いタイムも出ていましたが、レースでは平均0.5秒のタイム差で、デグラデーション（タイヤの摩耗による性能低下）も少なかったです。タイヤとしては良いスペックでしたが、今年のソフトタイヤはチームの作戦バリエーションが増えレースが盛り上がるために両スペックの性能差を広げること、つまり、ソフトタイヤのグリップを上げ、デグラデーションを助長することを狙いました。

事前テスト

昨年のもてぎレース後からコンパウンド=タイヤ接地面（トレッド）のゴム部分（の性質）を中心に開発をスタートし、ラボ試験で絞りこんだ7

種類のコンパウンドで実車テストを行い、最終的に今回採用したコンパウンドでは、SUGOとオートポリスで走行しています。

新スペックの内容

昨年よりも更にソフトな新コンパウンドを採用しています。本来、構造も新コンパウンドに合わせれば更に良いタイヤになりますが、時間的問題と、レースでミディアムタイヤと併用されるので車両セットアップへの影響が少なくなるようにミディアムタイヤと同じにしています。但し、ソフトコンパウンドによるムービング（クルマに左右方向の力が加かった時、タイヤのコンパウンドがよじれること）を抑制するためトレッドゴムゲージ（トレッドのゴム層の厚さ）を薄くしています。

新スペックの性能

ミディアムタイヤとのタイム差は、SUGOでは直接比較ではありませんが1.2秒、オートポリ

スでは1.4秒でした。デグラデーションは、予選アタック後の中古タイヤ想定で、SUGOではレース距離の半分で0.5~1.2秒の落ち、オートポリスではわずか7ラップで2.3秒の落ちでした。ミディアムタイヤのデグラデーションは殆どありませんから、レース距離のどこかでラップタイムが逆転する可能性があります。

また、摩耗によりトレッドゴムゲージが減ると路面凹凸に追従し難くなり極端にグリップが低下しますが、その限界までの摩耗寿命はSUGOでは150~200kmと推定されます。

予想される展開

ソフトタイヤは、コースや路温にセンシティブです。新スペックでもてぎ走行実績はありませんし、SUGO、オートポリスのテストでは路温が30℃前後であったのに対し、夏のもてぎでは55℃以上になる可能性もありますので、正直なところソフトタイヤがどのような性能を発揮するか予想は難しいところです。もてぎのコース特性、高路温を考慮すると、テスト時ほどミディアムタイヤとのタイム差、デグラデーション差は出ないと想定すべきかもしれません。

もてぎでは、ソフトタイヤ新品3セットの使用

となります。チームは未知のタイヤを使う訳ですから、金曜日の走行でソフトタイヤを試してから予選、レースに臨んで頂きたいのですが、おそらくソフトタイヤ3セット共に温存して予選で初めて使うチームが多いのではないのでしょうか。ミディアムタイヤは温めに3ラップ程度必要ですが、ソフトタイヤはそれよりもかなり早くピンポイントなので温め方が予選の明暗を分けることとなります。

レースでは、ソフトタイヤ持続性の読み、タイヤ交換を遅らせてマージンを稼ぐためミディアムタイヤスタートか、スタートダッシュに賭けてソフトタイヤスタートか、リスクも含め作戦は様々だと思います。

次戦オートポリスでは、全く違う状況になると思われませんが、この2戦の結果も踏まえ今後もスーパーフォーミュラが盛り上がるためのタイヤを開発していきたいと思っています。



夏だ! 花火だ! モータースポーツだ!

国内各所で毎週末モータースポーツが開催される夏。SUPER FORMULA第4戦の戦いの場は、今年記念すべきハタチのお誕生日を迎えるツインリンクもてぎ。国内レースはもちろん、今では世界レースも開催されるモータースポーツファンにはなくてはならない「定番サーキット」でのリアのお気に入りスポットをご紹介します



てぎのコースを無料で走れちゃいます。コースが分かると、レース観戦がもっと奥深く面白くなります☆真剣にプレイしてる私を見かけるかも?

次は、遊園地「モビパーク」。それって子供向けでしょ?と思っていませんか? あな

気分も味わっちゃいましょう!

最後は...やっぱり食べ物♪ 常設&屋台が充実しているのも私がおてぎを好きなの理由の一つ! 選手とのコラボメニューがあったり、ジェラート屋さんでは、人気のご当地ジェラート屋さんとのコラボやもてぎ限定メニュー

リア流SUPER FORMULA調理法

PROFILE

水村リア (みずむらりあ) : スーパーフォーミュラ・オフィシャルステージのMC担当。外国人ドライバーからレースクイーンまで幅広い対応力でステージを盛り上げる!

どっちゃんいけません! 交通ルールが学べたり、プチドリフト体験ができたり、意外と運転スキルが試されることもあって、大人も夢中になってしまう乗り物ばかりなんです。写真入りライセンスカードを作って、レーサー

クレストで作ってってくれるのでお気に入り☆ 大人から子供まで、レース以外も楽しめるスポットが沢山のツインリンクもてぎ。あなたもお気に入りスポット、探してみませんか? ©

TV放映/映像配信

BSフジ 決勝戦生中継 『2017スーパーフォーミュラ第4戦もてぎ』

番組では現地の臨場感をそのままお届けします。オフィシャルcommentary・ピエール北川と、アンバサダー本山哲の場内実況がサーキットの臨場感をリアルに伝え、ピットからはレース解説に定評のある松田次生と、今シーズンから初参戦の東(ひがし)美樹が、現場の緊張感をレポートします。○放送時間: 8月20日(日) 午後2時00分~3時55分

BSフジ 『スーパーフォーミュラ GO ON!』

番組では、注目のレース関係者や豪華ゲストを招き「人」をテーマにトークを展開、スーパーフォーミュラの魅力に迫ります。MCは小林可夢偉と中嶋大祐の現役ドライバー2人。その2人をピエール北川がサポートし、さらに乃木坂46の樋口日奈がナレーターとして華を添えます。加えて、レースダイジェストコーナーでは、ピットリポーター松田次生がトップドライバーならではの徹底解説をお届けし、東美樹が現地でアシストをします。○放送時間: 第5回 9月2日(土) 午後11時00分~11時55分

J SPORTS

全7戦の予選と決勝の様態をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組もOAします。○放送時間: 8月19日(土) 午後2時00分~ 予選生中継 J SPORTS 1
8月20日(日) 午後1時40分~ 決勝生中継 J SPORTS 1

GYAO!

大会終了15日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>

YouTube

スーパーフォーミュラ予選ならびに決勝の映像をダイジェスト版にて当日夜配信。詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブページ」(<http://www.superformula.net/>)でご確認ください。[superformulavideo-YouTube](https://www.youtube.com/user/superformulavideo)
<https://www.youtube.com/user/superformulavideo>

インターネット/SNS

- スーパーフォーミュラ公式ウェブサイト <http://superformula.net>
- スーパーフォーミュラ公式Facebook <https://www.facebook.com/superformula.official>
- スーパーフォーミュラ公式Twitter https://twitter.com/super_formula

予選結果も
すばやく
ここでCheck!

TIME SCHEDULE タイムスケジュール

RACE レース
8月19日(土)
9:00- 9:20 N-ONE 公式予選
9:40-10:40 SUPER FORMULA フリー走行
10:55-11:40 ビットウォーク
12:00-12:30 JSB1000公式予選(Q1)
12:40-13:00 JSB1000公式予選(Q2)
13:10-13:30 JSB1000 公式予選(Q3)
14:10- N-ONE 決勝レース [7Laps]
15:00-15:20 SUPER FORMULA 公式予選(Q1)
15:30-15:37 SUPER FORMULA 公式予選(Q2)
15:47-15:54 SUPER FORMULA 公式予選(Q3)
16:10-16:35 キッズビットウォーク
8月20日(日)
8:20- 8:40 JSB1000 フリー走行
9:10- 9:40 SUPER FORMULA フリー走行
9:40- 9:45 SUPER FORMULA スタート練習
10:25- JSB1000 決勝レース [23Laps]
11:50- 20周年記念セレモニー
12:15-13:00 ビットウォーク
14:10- SUPER FORMULA 決勝レース [52Laps]

EVENT イベント
8月19日(土)
8:30~ 8:45 オープニングステージ MC:水村リア
8:45~ 9:00 サーキットクイーンステージ 出演:ツインリンクもてぎエンジェル MC:水村リア
9:20~ 9:40 JSBライダートークショー 出演:高橋巧選手、中須賀克行選手、津田拓也選手、渡辺一馬選手
10:40~11:00 N-ONE OWNER'S CUPトークショー part1 ゲスト:小山美穂選手、泉女華選手 MC:水村リア
11:35~11:55 N-ONE OWNER'S CUPトークショー part2 ゲスト:中山友貴、小山美穂選手 MC:水村リア
12:00~12:20 SFドライバートークショー ゲスト:アンドレ・ロッチェラー選手、小暮卓史選手 MC:本山哲、水村リア
13:30~13:50 スーパーフォーミュラ予選直前トークショー ゲスト:本山哲、東美樹 MC:水村リア
14:20~15:00 レースクイーンステージ MC:水村リア
16:30~17:00 テクノロジーラボラトリー 両角岳彦、浅見理美 スペシャルゲスト
8月20日(日)
8:00~ 8:15 オープニングステージ MC:水村リア
8:15~ 8:30 サーキットクイーンステージ 出演:ツインリンクもてぎエンジェル MC:水村リア
9:00~ 9:40 レースクイーンステージ MC:水村リア
9:45~10:00 2輪レジェンドトークショー 出演:原田哲也、中野真也、青木宣篤
10:10~10:25 4輪レジェンドトークショー 出演:道上龍、本山哲
11:00~11:20 スーパーフォーミュラ決勝直前トークショー ゲスト:本山哲 MC:水村リア
11:25~11:45 SF監督トークショー ゲスト:近藤真彦監督、金石勝智監督 MC:水村リア
17:00~17:30 テクノロジーラボラトリー 両角岳彦、浅見理美 スペシャルゲスト

*スケジュール、内容、出演者等は予告なく変更、中止になる場合があります。

オフィシャルファンクラブ CLUB F 新規会員受付中!

豪華入会特典やチケット販売など、ファンクラブならではのサービスを予定! 詳しくは公式サイト (<http://superformula.net>) 内のファンクラブページをご覧ください

オンボード映像からレースを紐解く 『DRIVER'S EYES 2017シーズン VOL.1』 開幕戦鈴鹿、第2戦岡山を収録したVol.1発売!

発売日: 7月7日(金) / 価格: 2,700円(税込)
収録内容: 第1戦 鈴鹿、第2戦 岡山
コース解説: 中嶋一貴(鈴鹿)、塚越広大(岡山)
主音声: 松田次生(解説)、ピエール北川(実況)
副音声: 走行音のみ

全戦のライブタイミングをはじめ、SFをより楽しめる情報満載!! SUPER FORMULA 公式アプリ

各セッションのライブタイミングはもちろん、各車両の位置情報、セクターベストタイムなど、SUPER FORMULAファンだけでなく、モータースポーツファンなら抑えておきたいタイム情報が全て揃った優れたもの。これがあればレースがより楽しめる!!

*iOS用アプリはiPhone、iPadの両方に対応。
また、アプリで配信される情報はパソコンのウェブブラウザでも閲覧可能です。
<http://superformula.racelive.jp/>

・アプリのダウンロード
価格 無料
動作環境 iOS用 iOS 8.0以降、iPhone、iPad、および iPod touchに対応
Android用 Android 4.1以降

お求めは
場内売店か
公式サイトへ!